

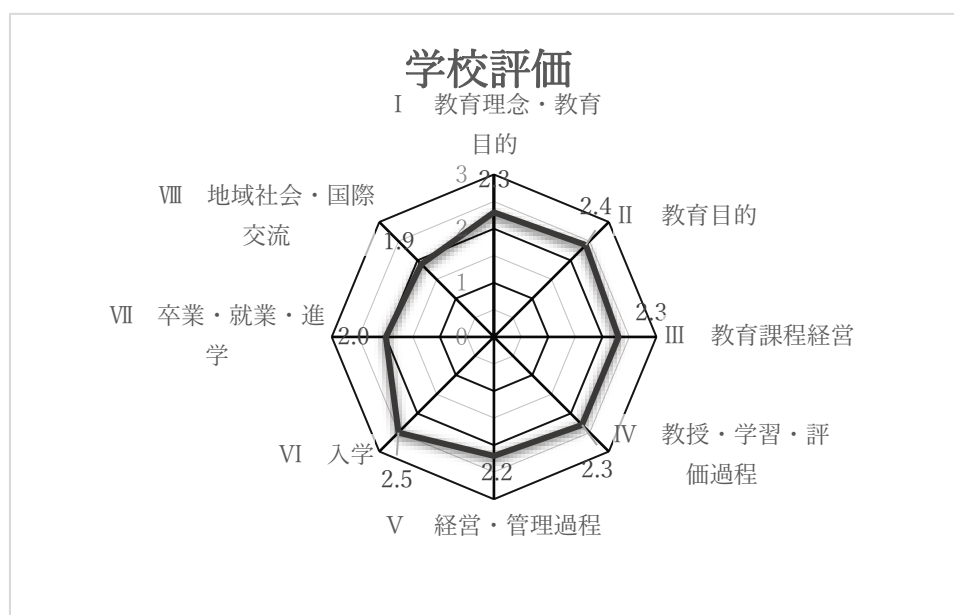
# 平成 30 年度 学校評価

本校では、学内に学校評価委員会を設置し、「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、教育活動全般に渡って、自己点検・自己評価を実施しております。

その結果をもとに教育内容や学校運営を見直し、改善を図り、より質の高い教育を提供できるよう取り組んでおります。

8つのカテゴリー26項目について、3段階評価(良く当てはまる3点、大体当てはまる2点、当てはまらない1点)として集計し、各カテゴリーの平均点を出しました。以下が評価結果です。

カテゴリー	評点
I 教育理念・教育目的	2.3
II 教育目標	2.4
III 教育課程経営	2.3
IV 教授・学習・評価過程	2.3
V 経営・管理過程	2.2
VI 入学	2.5
VII 卒業・就業・進学	2.0
VIII 地域社会・国際交流	1.9



○カテゴリーI～VIIの評点は、「大体当てはまる」の2点以上と高評価であった。

## I～III 教育理念・教育目的、教育目標、教育課程経営

「学生の看護実践体験の保証」については、主の実習施設とは2か月に一度の臨床連絡会議を開催し連携をとっている。さらにガヤガヤ会議を開催し、指導者との意見交換をしながら、効果的に学べるよう調整を図っていく。

## IV 教授・学習・評価過程

「目標達成の評価とフィードバック」については、授業評価、卒業時のアンケート、就職先への聞き取り調査等の取り組みを行っているものの、さらに教育活動を多面的に評価するための方法を検討すると共に、卒業生評価も取り入れていく。

## V 経営・管理過程

「施設設備の整備」については、教育用具や教材などの充実化を図っているが、築46年が経過し校舎は老朽化してきている。また、学習机等の更新もできていないなど課題も多くある。早急に学習機の更新を進め、さらに図書館充実、教材備品の更新等進めていく。

## VI 入学、VII 卒業・就業・進学

「卒業・就業・進学」については、就業集計はしているが、追跡調査までは出来ていない。平成29年度より、就職先を訪問し聞き取り調査を実施し、良い評価を得ている。今後はホームカミングデイを計画し、卒業生の支援、及び評価にも取り組んでいく。学生の就職支援として、求人票等を見やすく配置するなど改善を図っていく。

## VIII 地域社会・国際交流

「地域社会」については、学生会が主体で清掃のボランティアに取り組んでいる。さらには地域のニーズを把握しながら、近隣の中学校の職業講話等に参加している。

「国際交流」については、3学年ともに外国語が入っている。さらに3年ごとに学校祭で国際交流についての講演会を実施している。

「研究」については希望する教員もいるため、今後活動できる体制づくりや支援をしていく。